

項目	内容
名称	マキベリー [英]Maqui [学名]Aristotelia chilensis
概要	マキベリーは、アルゼンチンおよびチリのパタゴニア地方原産のホルトノキ科の常緑低木。原産地では葉が伝統的に生薬として用いられてきたほか、果実がジュースやサプリメントとして利用されている。
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <p>「専ら医薬品として使用される成分本質 (原材料) 」にも「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料) 」にも該当しない。</p>
成分の特性・品質	
主な成分・性質	<p>・ ポリフェノール類 (アントシアニンなど) (PMID:18687390) (PMID:16454470)、アルカロイド類、トリテルペン類 (PMID:18687390) などを含む。アントシアニンとして、特に抗酸化性の強いデルフィニジンを、豊富に含む (PMID:31193920)。</p>
分析法	<p>・ 実中のアントシアニンをHPLCで測定した報告がある (PMID:16454470)。</p>
有効性	
ヒト循環器・呼吸器で	調べた文献の中に見当たらない。

の 評 価	消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
	糖尿病・ 内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
	生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
	脳・神経・ 感覚器	RCT : 国内 【機能性表示食品】目の渇きと眼精疲労を感じておりVDT作業の多い成人74名（試験群37名、平均45.2±7.1歳、日本）を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、マキベリー抽出物60 mg（アントシアニン21 mg、総デルフィニジン15 mg、デルフィニジン-3,5-ジグルコシド4 mg含有）/日を朝食前に4週間摂取させたところ、VDT負荷前の両目、VDT負荷後の左目のドライアイ（シルマーテスト）の改善が認められた（PMID : 31193920）。
	免疫・がん・ 炎症	調べた文献の中に見当たらない。
	骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
	発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
	肥満	調べた文献の中に見当たらない。
	その他	調べた文献の中に見当たらない。
参考文献	(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳 (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添1、別添2、一部改正について) (PMID:16454470) Phytochem Anal. 2006 Jan-Feb;17(1):8-14. (PMID:18687390) Int J Pharm. 2008 Nov 3;363(1-2):85-90. (PMID:31193920) J Tradit Complement Med. Nov 2018;9(3):172-8.	